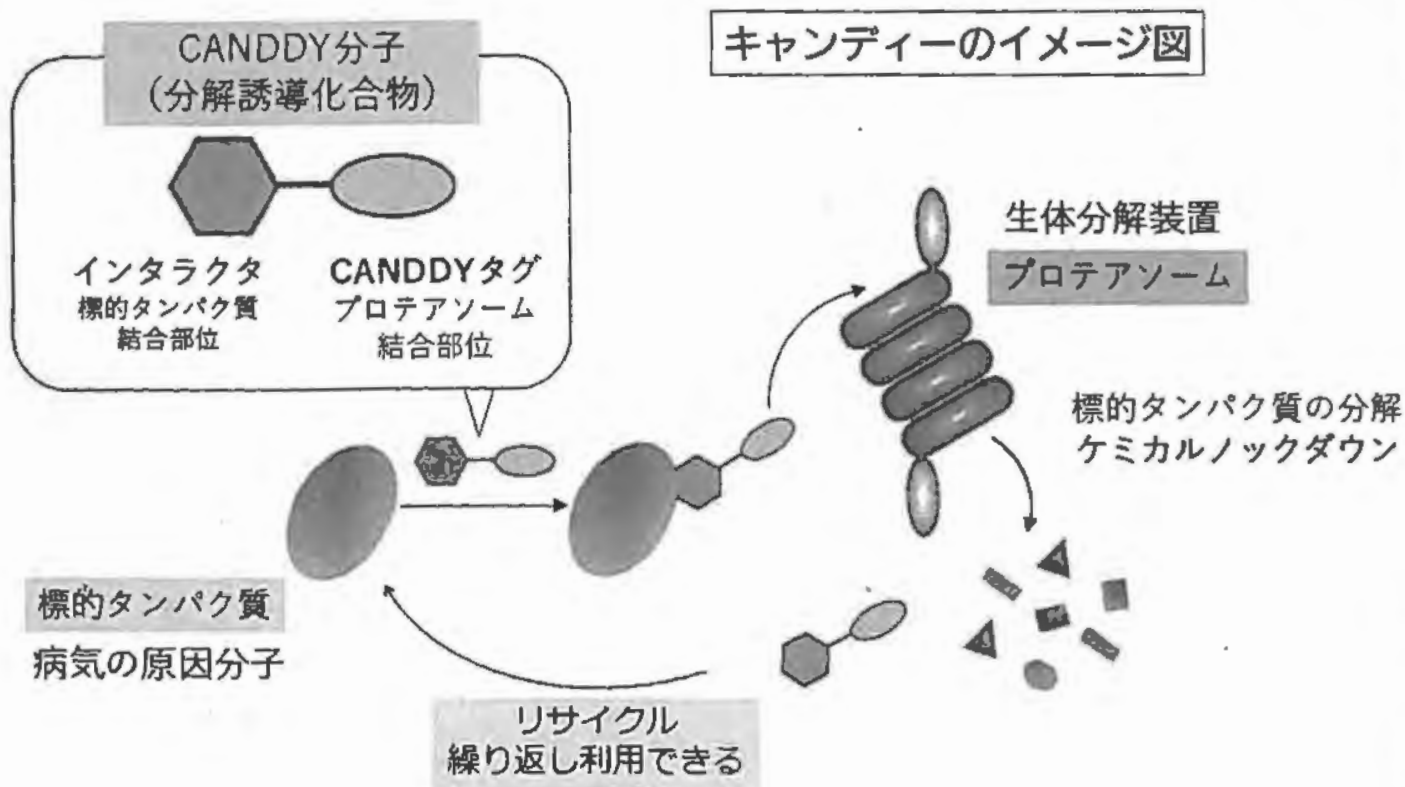


FuturedMe

がん治療に新創薬技術 原因分子の分解



FuturedMe (フューチヤードミー)、東京都中央区、宮本悦子最高経営責任者 (CEO) は、ゲノム医療に貢献する次世代の創薬技術「CANDDY (キャンディー)」の開発に取り組んでいる。ゲノム医療が進むがん治療で全ての標的に対して創薬できる新技術を使った薬の研究開発に挑戦している。

キャンディーは直接的に小分子によって標的をプロテアソーム (たんぱく質を分解する巨大な酵素複合体) に誘導して分解する技術で、細胞の天然のたんぱく質分解機構を使って目的のたんぱく質を分解できる。キャンディーには宮本CEOの「誰でも手が届き、安価で安心して口にできる薬」という思いが込められている。

既存の治療薬は、疾患の原因たんぱく質 (標的) 全体の25%にとどまっているが、キャンディーであればそれぞれの病気に応じた薬の開発ができ、薬がなくて治療を諦める患者が1人でも減らすことを目指している。

同社は宮本CEOが客員教授を務める東京理科大学発のベンチャー。今後、キャンディーの実用化に向け、海外も視野に入られて実証を続ける。